



とびだせ! 長谷川義史展



展覧会名： とびだせ！長谷川義史展
会 期： 2023年7月1日[土]～8月27日[日]
会 場： 佐野美術館
開館時間： 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休 館 日： 木曜日(8月17日は開館)
入 館 料： 一般・大学生1,100円 小・中・高校生550円
* 8月1日[火]は無料(創立者・佐野隆一翁生誕日) * 土曜日は小中学生無料
主 催： 佐野美術館、三島市、三島市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送
後 援： 静岡県教育委員会
協 賛： 伊豆箱根鉄道株式会社
協 力： 空色画房
企画制作： 毎日放送

みんなが笑ってほしい

佐野美術館は、2023年7月1日[土]～8月27日[日]の期間、「とびだせ!長谷川義史展」を開催します。

絵本作家・長谷川義史は、1961年大阪に生まれ、グラフィックデザイナーを経て2000年に絵本デビューしました。現在まで150冊以上を手がけ、ダイナミックな筆づかいでユーモラスな人物たちが描かれた作品は、子どもから大人までみんなを笑顔にします。絵本制作のほか、イラスト付きエッセイの執筆、海外の絵本作品の翻訳、全国各地での絵本ライブ、テレビ番組の出演など大阪を拠点に幅広く活躍しています。

奇想天外なお客さんをおおらかに受け入れるおじいちゃんの大人気シリーズ『いいからいいから』、父亡きあと家族を支え頑張る作家自身の母を描いた『おかあちゃんがつくったる』。くすくと笑えて、時にほろりとさせられる長谷川絵本の原点には、「世界中のみんなが笑ってほしい、幸せであってほしい」という願いがあります。

本展は、プロローグから「絵本作家へ」「家族」「絵本作家のよこがお」「未来の子どもたちへ」「幸せのあいことば」の5章と、「コラム 絵本の描き方」で構成。絵本原画をはじめ、イラストレーションやデザインの仕事、立体作品、絵本の下絵やダミー本まで約220点で創作世界を紹介します。

毎日放送のスケッチ散策コーナー『とびだせ! えほん』撮影で描いた作品とスケッチ「静岡」は、静岡会場特別展示です。キャラクターパネルと一緒に記念撮影ができる、フォトスポットもお楽しみに。

兵庫、京都で人気を博した展覧会を東日本で初開催、ついに静岡にやってきます!

※6月19日[月]～30[金]は館内整備のため休館いたします。

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合には、1～7の画像をデータで提供できます。メールか電話でご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットとコピーライトの明記をお願いします。



1.



3.



4.



5.



2.



6.

1. とびだせ! 2022年 ©長谷川義史
2. 『いいからいいから』原画 2006年 絵本館 ©長谷川義史
3. 『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』原画 2000年 BL出版 ©長谷川義史
4. 『おかあちゃんがつくった』原画 2012年 講談社 ©長谷川義史
5. 『シバ犬のチャイ』原画 2013年 文:あおきひろえ BL出版 ©長谷川義史
6. 『とびだせ! えほん』番組用に描いた作品「静岡」 2013年 ©長谷川義史
7. ©長谷川義史



7.

長谷川義史 [はせがわ よしふみ]

1961年大阪府藤井寺市生まれ。グラフィックデザイナーを経て、『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』(BL出版)で絵本デビュー。『いいからいいから』(絵本館)、『へいわってすてきだね』(プロンズ新社)、『おならまんざい』(小学館)など、150冊以上の絵本を発表。独自のタッチとユーモアあふれる作風で、大人から子どもに大人気。また、社会的テーマにも意欲的にとりくんでいる。『おたまさんのおかいさん』で第34回講談社出版文化賞絵本賞、『ぼくがラーメンたべるとき』で第13回日本絵本賞と第57回小学館児童出版文化賞、『あめだま』で第24回日本絵本賞翻訳絵本賞、『マンマルさん』で第67回産経児童出版文化賞翻訳賞など、多数受賞。毎日放送「ちんぷいぷい」『土曜のよんちゃんTV』などでのスケッチ散策で、お茶の間にも人気。好きなものは温泉とお酒、嫌いなものは甘いもの。

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 TEL 055-975-7278 FAX 055-973-1790

URL <https://www.sanobi.or.jp/> EMAIL koho@sanobi.or.jp

※6月19日[月]～30[金]は館内整備のため休館いたします。